

# (株) ドーンデザイン研究所 代表 水戸岡 鋭治<sub>氏</sub>

今回のゲストは、鉄道車両デザインの第一人者、(株)ドーンデザイン研究所代表・水戸岡鋭治氏である。 斬新なデザインで人気を博している車両、JR 九州の「つばめ」や「ソニック」を手がけたことで知られる。 現在は JR 九州や両備グループ(岡山)のデザイン顧問などを務めている。これまでに鉄道車両のほか、バスや船、駅舎なども手がけ、世界最高の鉄道デザインにおくられる「ブルネル賞」も過去4回受賞している。 温かいデザインで豊かな空間を追求する水戸岡氏に、デザインやものづくりについて、興味深いお話をうかがった。

## デザイナーまでの道のり

**メカライフ編修委員**(以下, **メカ**) これまでの経歴について教えてください.

**水戸岡氏**(以下,敬称略) 実家が家具屋なので,家を継ぐために岡山県立工業高校の工業デザイン科インテリア学科に入って,高校三年間でインテリアの基礎を学びました. それから大阪のデザイン事務所で約三年間,多角的に工業デザインやグラフィックデザイン,インテリアデザインの仕事をやりました.そして実家に戻って2年間,家具屋として,図面を描いたり,トラックで運搬をしたりで,いろいろやりました.

メカ 学生時代の思い出を教えてください.

**水戸岡** すごく立派な先生がいたことを覚えています. デザイン科の加藤先生です. そのころの日本は高度成長期の始まるときで, いかに合理的に, シンプルに, モダンなものを作るか, という教育を受けてきました. でも先生は「デザインは合理性ではなく情緒である」と真っ向から反対意

見を述べていました. つまり, 合理性より心が大事, 経済性より文化が大事であると. 試験はいつも原稿用紙 1 枚に「デザインとはなんぞや?」とだけ書いてあり, 学生はそれを考えました. そのお陰で今でも「デザインとはなんぞや?」と常に考えています.

メカ JR 九州との出会いについて教えてください.

水戸岡 実家の手伝いをしていたとき,以前働いていた大阪のデザイン事務所から海外での仕事を紹介されて,イタリアのミラノのデザイン事務所で働きました.しばらくして事務所通いの生活が嫌になって,バカンスをとろうと事務所を退職しました.それからヨーロッパ,アメリカとふらふらと旅を始めたんです.それから約2年弱,たびたび鉄道を使って旅していました.

帰国後は東京で事務所を開きました.最初は絵が得意だったので、イラストを描いていました.そうしているうちに九州から依頼があって、それが「ホテル海の中道」のアートディレクションでした.私は「ホテルの仕事はやったことがない」と正直に言ったのですが、皆さんがサポートしてくれて、この仕事は大成功を収めました.

この「ホテル海の中道」の横を香椎線という鉄道を走らせるという話がもちあがり、「アクアエクスプレス」を手がけることになりました。鉄道車両のデザインも経験がなかったのですが、JR 九州の方に図面や材料のことを丁寧に教えていただき、これも成功しました。こうして JR 九州のデザインに少しずつ参加するようになり、バスや船のデザインもしました。

**メカ** 鉄道やバス、船の専門的な知識はお持ちでしたか. **水戸岡** 専門的な知識はありませんでしたが、デザインの 本質は一緒です。まず、誰のために、何のために、を決め てから、次に何をどうするのか。つまり、形とか色、素材、 使い勝手を決めていきます。建築も工業デザインも本当は 全部一緒であることを、ヨーロッパでの経験を通してわか りました。だから鉄道からバス、船、駅までデザインして も、不安はありませんでした。

#### コミュニケーションの大切さ

**メカ** ヨーロッパでの鉄道の旅で何か良い思い出はおありですか.

**水戸岡** 旅をする人たち自身,お客さんに対するサービス, 車両から見える風景, それらすべてについて, 質が高いと



図1 インタビューの様子

感じました. ヨーロッパは、いろいろな面で成熟しているんですね.

一緒に旅をした人の多くが、僕とコミュニケーションを とろうと努力してくれました。赤の他人、それも異民族の 僕と長い時間を一緒に過ごすのですから、お互いが何を 思っているのかを伝え合うことは、安全に心地よく旅する ために、すごく大事なことでした。

**メカ** コミュニケーション能力は、デザインの現場でも大切ですね。

**水戸岡** コミュニケーションできないと,物事が進まない. ものづくりの現場では,対話によってすべてが決まり,対 話能力が高い人は,質の高いものをつくれます.そうやっ て良い製品や心地よい空間を増やしていくことで,みんな の暮らしが豊かになります.

自分が心の中で思っていることを、正直に、正確に、相手に伝える。それが一番大事なんです。会話を交わすということは、イマジネーションの闘いです。だから豊かな会話さえあれば、あとは大したことをしなくても、十分に豊かになれます。

**メカ** 日本人はコミュニケーションが下手だと言われていますが.

**水戸岡** ヨーロッパの小さなパーティーでは、料理はイモだけで、ごちそうは会話、ということがよくあります. 日本は会話がないからおいしい食べ物が出てくる. それが文化の差、生活レベルの差ですね.

対話は、職場の人や同年代の人とだけでなく、子供とも、お年寄りとも、異民族ともできることが大事。それを実現するためにどういう環境を作ればいいのか、僕たちデザイナーは常に考えています。心地よい空間を作れば、人間はリラックスして、楽しくなり、笑顔になり、一言しゃべりたくなり、歌いたくなる。そういう空間を作ることが、デザインの仕事だと思います。

**メカ** 先生の代表作「つばめ」も心地よい空間をキーワードにデザインされたのですか.

**水戸岡** 豊かな対話というものは、精神的にも肉体的にも心地よい環境でなければ、なかなか実現しません。そのために、素材、色、形、使い勝手のすべてをデザインしなければなりません。それらがすべてそろったときに、おのずと心地よさが生まれて、豊かな気持ち、対話が生まれると思います。

JR 九州の車両は手間がかかっています. たとえば, プラスチック樹脂の代わりに, なるべく天然の素材を使っている. そうした細部の積み重ねが, 質の高い車両, 質の高い空間を生み出しています.

#### エンジニアとデザイナー

**メカ** 鉄道車両のデザインはどのようにして行うのですか. **水戸岡** 車両のデザインを始めるとき、機械という意味では、車両はほとんど完成しています。99%はできているので、あとの1%が僕たちデザイナーの仕事になります。 具体的には、先頭車両の形、居住空間、色、使い勝手、素材などを決めます。ただし、一般の乗客には、この1%し か見えない. だから、僕たちの受け持つ 1% が新しいか古いか、良いか悪いかで、車両のシステム全体が評価されてしまいます. 僕たちが素晴らしいデザインを描いたら、その後に、すごいエンジニアもたくさんいると評価されます. つまり、目に見える部分は車両の一部、氷山の一角でしかなくて、水面下ではたくさんの人が良い仕事をしていると感じるのです. そこに光を当てることも、僕たちデザイナーの大切な仕事です.

**メカ** デザインの仕事とは、具体的にどのような流れなのでしょうか.

水戸岡 日本では、色や形をさわるのがデザインだと思われていますが、僕はもっと総合的で創造的な計画をする仕事がデザインだと考えています。ヨーロッパでは政治によって文化や都市がデザインされると言われます。それに比べると、日本のデザインは非常に表面的で狭いものに限定されます。その意識の違いが、デザインの幅の違いにかかわってきます。多角的に大きな観点で全体を見渡し、そのうえで今日はデザイナー、明日はアーキテクト、さらにはプロデューサーやウェブデザイナーになったり、というようにさまざまな実務をこなすことができれば、デザインの幅が広がり、よい仕事ができます。

**メカ** エンジニアに協力してもらうには、デザイナーはどうすればいいのですか.

**水戸岡** 僕はエンジニアに最高のものを出してほしい、と伝えます。だからいつも「一番得意なことは何ですか」と読きます。デザイナーは図面は描いても、実際につくるわけではない。だから、作り手が納得する、満足する、あるいはやったことはないけれど面白そうである、というような方向が重要です。

僕は職人さんを尊敬しています。この人のこの技をこんな形にしたら面白いなぁ、といつも考えています。たとえば、そこにある照明の傘。もともとは九州で作られたくずカゴですが、お願いして少し手を加えてもらったら、こんな面白い照明器具になりました(図2)。椅子には九州産のい草を張ったりもします。デンマークでは紙を張るのですが、僕は職人さんにい草を張ってもらった。職人さんは簡単に作ってしまいました。それは彼がつくったものだけど、同時に僕の作品にもなる。こうやって、いろんな人とコラボレーションすると、良いものが次々とできていきます。

#### デザインの仕事

**メカ** デザインをするうえで意識してやっていることはありますか.

**水戸岡** 手を使って書く、というのが私の良さだと思っています。若い人たちはフリーハンドが苦手で、コンピュータで物をつくるのが得意です。たとえば、手書きで電車を描いてコラボレーションしていく。工業製品のなかに手作業が入り込むと、製品の質が上がります。

JR 九州では、新しさと懐かしさを兼ね備えた電車を作っています。 車両に金箔を貼るというデザインも行いましたが、これは日本の伝統的な、江戸時代、安土桃山時代の発



図2 くずカゴを改良してつくった照明器具

想,技術です.それに漆を使って、最先端の新幹線のシステムの上に、日本の伝統的な技術を加えてみる.そうやって僕らは、新しくて懐かしい、世界に通じる日本独自の車両を作っていきます.日本にしかない技術を使い、まねをしない、というのもテーマです.

**メカ** 日本の伝統的な技術と最先端の技術とを組み合わせるときに、参考にしているものはありますか.

**水戸岡** 古い神社仏閣を見て歩いたり、自然の中をゆっくり歩いたりします。町を歩いているときは、建物が気になりますね。百年前のレンガ積みの建物や、できたばかりのガラスだけの建物を見て、レンガとガラスを組み合わせたら面白くなるかな、と想像したり、そういうことを考えて生活していますね。

**メカ** 鉄道のデザインと他のジャンルのデザインで意識は 変わりますか.

**水戸岡** バスや船の仕事もしましたが、バスは実質的にデザインできません。ほとんどの部材は量産品で、金太郎アメのように同じものしか作れません。船も安全基準が厳しすぎて何もできない。それは国家的な方針を間違えているのが原因だと思います。もう少し商品の良さを表現できるような柔軟なルールに変えないといけません。

一方、鉄道はその可能性がすごく高くて、いくらでも変えることができる。一つの街並みを作るように、レストランやカフェがあったり、自動販売機やビュッフェがあったり、ショップがあってもいい。ぶらぶらと長い距離を歩いてトイレにも行ける。バスや船の仕事をして改めて、鉄道の面白さを実感しました。

JR 九州と鉄道車両をつくるとき、競争相手はホテルやリゾート施設です。JR 九州では車両をリゾート施設として作りたいと考えています。ホテルは最高の環境に建っているから眺望が良くて、サービスも、居住空間も良くできている。でもホテルから見える景色は一つだけです。鉄道は景色が刻一刻と、飛ぶように変わっていきますから、ホテル以上の魅力があります。「街を動かそう」というのが大きなテーマですね。

**メカ** デザイナーというのは物を売るためのコンサルタントであると感じていましたが、コンセプトを一緒に提示しながらデザインの案を出すこともありますか.

**水戸岡** コンセプトは一番大事です。なるべく短く、誰が 読んでもわかる文章で表現します。それができないと考え が伝わりません. 日本の企業のトップは活字を読む能力が 非常に高いですから、彼らが読んで面白いと思わせないと いけません.

ただ、コンサルタントだけではなくて、先に言ったように、僕はデザイナーもプロデューサーも、現場監督もします。何でも自分でできるように訓練する。それが私の理想とするデザイナーです。ヨーロッパで万能といわれるダ・ビンチやミケランジェロは、そういう人ですよね、僕はダ・ビンチが好きなんです。万能の天才で、イラストレーターでありデザイナーでもあるという、そんな人がいいなと思って、

### デザイン研究所について

**メカ** 社名「ドーンデザイン研究所」の由来は何ですか. **水戸岡** 昔のあだ名が鈍治(どんじ)だったんです.小学 校のころのニックネームなんですが,それを事務所の名前 にしました.この鈍は、デザイン上でも大切なキーワード だと思っているからです.

鋭角より鈍角がいい。鋭角は折れてしまうけれど、鈍角は折れない。本当に美しいデザインは鈍角なんですよ。自然を見ても、良いものは良い鈍角をしているし、遠くから見て美しいものは鈍角です。鋭角のものは遠くからは見えないので、ないのと同じになってしまう。でも鈍角は見えるんですね。だから車両のデザインをするとき、鋭くするよりもむしろ鈍角に、少し鈍めにする。デザイナーは鋭い笑ったシャープなデザインを好むけれど、それでは存在感がなくなってしまう。だから僕は自然の形に近い鈍角を大事にしているんですね。

**メカ** 代表として、職場の環境づくりで工夫していること はありますか.

**水戸岡** うちは毎朝1時間,皆で掃除をします.掃除をすると建築の素材は良くわかるし,健康にもいい.デザイン 事務所は運動不足になりがちですが,掃除をすると良い運動になります.

メカ 水戸岡さんのこれからの目標を教えてください.

**水戸岡** 一番試したいのは、労働時間 5 時間の会社を作りたい。そうすれば職を二つ三つとかけもちできるし、ワークライフバランスをとりやすくなる。夫婦共働きで 8 時間労働での子育ては難しいけれど、5 時間労働なら可能です。



図3 インタビューに答える水戸岡さん

朝8時に仕事を始めたら、昼過ぎに仕事は終わり! これなら趣味や別の仕事もできます。そういう人が、たとえば昼から街に出れば、お金を使う側に回る。ローテーションを組みながら街を上手く使っていけば、街にはいつも人がいて、健全な環境ができあがり、暮らしが豊かになります。

#### 最後に

**メカ** 水戸岡さんが一緒に働きたくなるような人はどのような人ですか.

水戸岡 やっぱり話ができる人. それから人間として自立できる人ですね. 話をする, というのはコミュニケーションの基本です. 自分が今何を考えているのか, ちゃんと相手に知らせないといけない. 最近うちに来る子はみんな良い子ばっかりで, ものすごく楽なんですが, でも何か頼りない. 自分の主張が弱いというか, 君たち先行きは大丈夫か? といつも不安になります. それでは独立して事務所が持てない. 大企業に行こうが, 個人でやろうが, 人間として自立していなければ楽しく仕事ができないし, そもそも自立できない人は仕事では役に立ちません. まずは人間として自立する, 自分が何者であるかということを一生懸命追求している人と一緒に働けたらうれしいですね.

**メカ** 先生のように多くのチャンスをつかむために大切なことはなんですか.

水戸岡 社会に出て最初のころは、コミュニケーション能力、特にプレゼンする能力はどうしても低い。だから、まずは正直であること、素直であることが大切です。できることはできない、わからないことはわからない、と言うことが大事です。自分をよく見ていないと、それができない。他人と比べて自分がどのレベルにあるのかを的確に知ることが、チャンスと出会あうために一番大事なことです。あとはフェアプレーです。正しいことを正しいと言えるかどうか。これからの時代、そういうことがもっともっと必要になって、アウトはアウト、セーフはセーフと、はっきり言える時代になっていきます。だから、自分がフェアプレーを貫くことが大事だと思います。皆さんには、そんな社会人になってほしいと思います。

(メカライフ学生編修委員 兼平さゆり, 秋元健太郎, 居合 徹, 大森康由, 黒澤瑛介, 田中 文, 塚田 匡)



図4 水戸岡さんと学生委員, 山本委員